

2013年6月1日  
在アンゴラ日本国大使館

## アンゴラ情勢報告（2013年5月）

### 【5月の政治動向】

#### <内政>

- ・ **政府内人事**：6日，ドス・サントス大統領は，新財務大臣にアルマンド・マヌエル（Armando Manuel）を，新建設大臣にヴァルデマール・ピレス・アレシャンドレ（Waldemar Pires Alexandre）を任命。9日，新たに任命された財務大臣，建設大臣他が就任。
- ・ **銀行創設資本金額の設定**：9日，政府はアンゴラ国内に商業銀行，投資銀行を創設する際の資本金の最低金額を25億クワンザ（約2500万ドル）に設定。
- ・ **投資**：13日，民間投資庁（ANIP）は，アンゴラ，ポルトガル，ブラジル企業からなるコンソーシアムとの間で，ルアンダ市内ポアビスタ地区におけるホテル，店舗，マンション，レストラン，カジノ等の複合施設建設を契約。費用は2億8300万ドル，完工までに3年を要する見込み。
- ・ **法令**：司法統一制度法令の改定が国会で審議された。同改定は，民事，刑事における市裁判所の権限拡大や州裁判所の予算面での独立等を目的としている。
- ・ **国勢調査**：16日，国勢調査のパイロット調査が開始。同調査は，主要7州で実施され，15日間で14万5千人の登録を実施予定。
- ・ **情報技術**：17日，ルアンダにてアンゴラ情報技術フォーラムが開幕し，テイシェイラ科学技術大臣は，現在政府が「国内全土をネット接続 “Conectando o país”」戦略を推進している旨述べた。
- ・ **民営化**：経済省は，産業多様化を目的として運営が悪化している30の公社を次5年間で民営化する方針。これにより，30万人の新規雇用が創出される見込み。
- ・ **海外送金**：中央銀行は，アンゴラ人及び住民カード保持者に対しクワンザ立ての海外送金を義務づける旨の告示を発表。海外送金の限度額は月50万クワンザ，年間200万クワンザに規定されている。
- ・ **デング熱の流行**：今年3月前半からアンゴラ国内でデング熱が流行しており，20日，ルアンダ市内で今期流行での初の死亡者を確認。

- ・ **環境保護**：29日、ジャルディン環境大臣は、ザンベゼ流域圏の水資源運営委員会のメンバー諸国との間で、国境付近の環境保護に関する地域プロジェクトを実施する旨発表。
- ・ **繊維工場リハビリ**：30日、ルアンダにおいて、マヌエル・ヴィセンテ副大統領を委員長とする経済委員会が開催。同委員会において、現在80%まで完成しているルアンダ州の繊維工場リハビリ案件の完工を重視することで意見が一致。
- ・ **新通貨**：31日、中央銀行は額面1000, 2000, 5000クワンザの新紙幣の流通を開始。

## <外交>

- ・ **ポーランド・アンゴラ関係**：
  - ムレンバ水産大臣は、ポーランドの支援によるナミベ水産漁業アカデミーの第2フェーズ着工を発表。
  - ポーランド外務副大臣がアンゴラを訪問。ブラガンサ外務協力担当副大臣と会談した他、モンテイロ経済副大臣とともに、アンゴラ・ポーランド経済ビジネスフォーラムに出席。両国間に存在する協力協定を精査する専門家グループを創設することで合意。
- ・ **スウェーデン・アンゴラ関係**：スウェーデン商務大臣がアンゴラを訪問。8日、情報技術会合に出席し、同国がICT分野においてアンゴラの持続可能な発展に貢献できる旨発言。
- ・ **ナミビア・アンゴラ関係**：アンゴラとナミビアは、ナミベ州のクネネ川に水力発電ダムを建設することで合意。600MWの電力生産を見込む。
- ・ **キューバ・アンゴラ関係**：24日、キューバ閣僚評議会副議長がカストロ議長の親書を携行し、ドス・サントスと会談。
- ・ **ギニア湾委員会**：ギニア湾委員会閣僚会合は、同地域の平和と安全に関するルアンダ宣言を批准。さらにアクション・プランと地域機関の予算を承認した。
- ・ **SADC 関連**：13日、ルアンダにおいて、SADC 政治・防衛・安全保障協力オーガンの戦略的指針計画が発表された。
- ・ **コンゴ（民）東部情勢**：13日、南アにて、コンゴ（民）東部情勢に関するコンゴ（民）、アンゴラ、南アの3国間協力連携メカニズムの一環として会合が開かれ、アンゴラからはシコティ外相が出席。
- ・ **日本アフリカ資源大臣会合**：16～18日、ケイロス地質鉱山大臣は、日本で開催された日本アフリカ資源大臣会合に出席。海外投融資情報財団(JO1)は、9月に日本で開催予定のアンゴラ投資セミナーに同大臣を招待。

- ・ **赤道ギニア CPLP 加盟問題**：ンゲマ赤道ギニア大統領は、アンゴラを訪問しドス・サントス大統領と会談。CPLP 加盟への支持要請に対し、ドス・サントス大統領は支持を表明。
- ・ **AU 関連**：シコティ外相は、エチオピアにてAU閣僚執行理事会に出席。また、マヌエル・ヴィセンテ副大統領がアンゴラを代表しAU総会、及び、25日に開催されたアフリカ統一機構（OAU）/アフリカ連合(AU)50周年記念式典に出席。
- ・ **ISDB-T 国際フォーラム**：27～28日、ウルグアイにて開催されたISDB-T国際フォーラムに、サフェッカ通信副大臣を首席代表とするアンゴラ代表団が出席。
- ・ **地雷除去**：28日、オタワ条約常設委員会の会合において、アンゴラが今年度第一四半期に、8000平方 Km 以上の土地の地雷除去、328の対人地雷、26の対戦車地雷、26356の不発弾処理を達成したとして地雷除去進展状況を評価。

## 【基本事項】

### <一般情報>

- ・ 国名はンドンゴ王国の王号ンゴラに由来。人口1961万8432人<sup>1</sup>（2011年世銀推計）
- ・ 旧ポルトガル植民地であり、1975年に独立。独立後、1975年から2002年まで長年に亘る内戦を経験し、2002年に和平を達成。

### <政治体制・内政>

- ・ 大統領を元首とする共和制国家。
- ・ 2002年の内戦終結以降、民主化を進めており、国内政治的には非常に安定。
- ・ 2008年9月に内戦終了後、16年ぶり2度目の国会議員選挙が実施され、与党アンゴラ解放人民運動党（MPLA）が81.3%の得票で圧勝。
- ・ ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス大統領は、初代大統領アゴスティーニョ・ネトの死去を受け、1979年9月20日就任。
- ・ 2010年に新憲法が施行。首相職が廃止され、副大統領を設置。大統領と国会議員の選出を同一の選挙で実施する「議院大統領制」が採用された。大統領の任期は5年<sup>2</sup>、2期まで。議会は1院制（議席数220、任期5年）。
- ・ 2012年8月31日、新憲法の下で初、史上2度目の大統領選挙、史上3度目の国会議員選挙となる総選挙が実施され、ドス・サントス大統領が再任された。

（了）

<sup>1</sup> 2014年に国勢調査の実施を予定。